

2019年7月23日



一般社団法人 日本スーパーマーケット協会

2019年6月 マンスリー レポート

集計企業数 55 社

①売上高・前年同月比

	全店			既存店	
	売上高	構成比(前月)	前年同月比(前月)	売上高	前年同月比(前月)
総 額	57,444,788 万円	100.0%	101.7% (101.4%)	54,788,800 万円	100.1% (99.9%)
食 料 品	49,034,212 万円	85.4% (85.5%)	101.7% (101.3%)	46,911,630 万円	100.1% (99.8%)
農 産	7,240,088 万円	12.6% (12.7%)	102.1% (101.6%)	7,001,532 万円	100.4% (100.0%)
水 産	4,418,341 万円	7.7% (7.8%)	102.8% (101.9%)	4,266,257 万円	100.9% (100.1%)
畜 産	6,136,843 万円	10.7% (10.7%)	102.1% (100.3%)	5,918,083 万円	100.0% (98.3%)
惣 菜	5,729,232 万円	10.0% (10.3%)	102.8% (103.4%)	5,521,891 万円	100.8% (101.5%)
日配食品	11,202,344 万円	19.5% (19.5%)	101.8% (101.2%)	10,334,211 万円	100.3% (99.8%)
加工食品	14,307,365 万円	24.9% (24.5%)	100.5% (100.7%)	13,869,656 万円	99.4% (99.6%)
生活関連	3,519,252 万円	6.1% (5.9%)	100.8% (101.5%)	3,415,205 万円	99.0% (99.7%)
衣 料 品	1,717,451 万円	3.0% (2.9%)	98.6% (100.2%)	1,622,317 万円	98.1% (99.7%)
そ の 他	3,173,873 万円	5.5% (5.7%)	104.1% (102.7%)	2,839,648 万円	101.5% (101.0%)

② 数 値

全店総売上高	57,444,788 万円	店舗数	4,874 店舗
総売場面積	9,744,705.4 m ²	総従業員数	259,422 人

店舗平均月商	11,786.0 万円	平均客単価 (前年同月比)	1,892.3円 (101.8%)
月間m ² 売上(前月)	5.9 万円 (6.1万円)	平均店舗面積	1,999.3 m ²
月間坪売上(前月)	19.5 万円 (20.0万円)	パート比率(前月)	76.0% (77.1%)

注) 総従業員数・・・パート・アルバイト数は、8時間換算しています

《 全 体 概 況 》

- ・ 6月の天候について、日照時間は東・西日本で多く、沖縄・奄美でかなり少なかった。降水量は西日本で少なく、沖縄・奄美でかなり多かった。
- ・ 梅雨入りは、関東甲信から北陸が6月7日頃、近畿から九州は今までで最も遅い6月26日頃となった。
- ・ 生鮮品の相場状況については、青果物は野菜相場全体では前年並みだったが、果物は国産の「さくらんぼ、もも、うめ」が不作や出荷遅れのため相場高であった。水産物の卸売価格は、ほぼ前年並みだったが、「いわし、かつお」は高値だった。畜産物では、鶏むね肉が相場安だった。
- ・ 前年同月と比較して日曜日が1回多く金曜日が1回少ない曜日廻りで、8ヶ月ぶりに既存店売上高前年同月比を上回った。

《 商 品 動 向 》

・ 農 産

- ・ 旬の食材において、野菜では「アスパラガス、えだまめ」が好調だったが、果実では「さくらんぼ、もも」が不作による高値のため不調だった。「すいか、メロン」は、好不調に分かれる結果となった。
- ・ 菌茸類、じゃがいもが好調であった。
- ・ 輸入果実では、「バナナ、キウイフルーツ、オレンジ」が好調であった。

・ 水 産

- ・ 生かつおは、昨年のアニサキス報道が落ち着き、混入事例も少なかったことにより好調であったというコメントが多く見られた。
- ・ 刺身は概ね好調であった。
- ・ めかぶなどの海藻類が好調であった。

・ 畜 産

- ・ 牛肉は、「焼肉用、ステーキ用」が好不調に分かれる結果となった。
- ・ 豚肉は、全体として不調とのコメントが多かった。
- ・ 国産若鶏むね肉が相場安による販促回数が増えたことにより、好調であった。

・ 惣 菜

- ・ おつまみ商材「焼きとり、えだまめ」や、米飯は概ね好調であった。
- ・ 気温の上昇により「サラダ、涼味麺」は好調であった。

- ・ 日配・加工食品

- ・ アイスや飲料、チルド麺や乾麺などの涼味商品は天候要因により、好不調に分かれる結果となった。
- ・ カップ麺や袋麺が値上の影響により不調であった。
- ・ コーヒーが好調であったというコメントが見受けられた。

- ・ 父の日のマーケット（ごちそう、ギフトなど）について

- ・ 「父の日」では、ごちそうメニューとして「ステーキ、焼肉」といった取組みが多く、動向としては概ね好調だった。次いで、「握り寿司、刺身、うなぎ」の取組みも多かった。おつまみ商材「えだまめ、焼きとり」が好調であったというコメントも見受けられた。

以 上